

仏教とお寺をやさしく解説

# さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2009年7月  
第2号  
(年2回発行)

お盆号

発行部数3千部



「お寺を集いの場所に…」／丹羽義理昭副住職インタビュー  
シリーズ浄土宗／浄土宗の教え  
実践教室／お盆の過ごし方  
仏事相談／年回法要・一度にまとめてこのお盆

## 副住職インタビュー 「お寺を集いの場に…」

西願寺副住職である丹羽義昭師は、現在彩の都メモリアルパークの運営、あずま幼稚園の園長、草加市市議会議員を務める多忙な毎日。教育に携わる者としての思い、今後のお寺についての思いなどのお話を伺いました。



西願寺副住職 丹羽義昭師  
あずま幼稚園園長  
草加市市議会議員

**問** まず、お寺を継ぐことを意識したのはいつごろからだったのでしょうか？

**副住職** 私は、三人兄妹の真ん中で上に兄、下に妹がいます。寺は兄が継ぐはずだったのですが、兄は学校の先生になり「そちら（教職）一本でやっていきたい。」という事で私が西願寺を継ぐことになりました。幼い頃から、漠然といずれどこか他のお寺に行ってお坊さんになると思っていたので、特にお寺を継ぐということとは意識していなかったかな…。

**問** 得度（※1）されたのはいつ頃だったのでしょうか？お坊さん以外になりましたか？

**副住職** 得度は、確か小学校の三年生か四年生くらいだったと思います。子どものころは誰もが思うように、スポーツ選手になりたいとか、料理家になりたいか思ったりしましたが、お坊さんになるという事に違和感を感じたりはしませんでしたね。

**問** そうですか。お父様である、ご住職も小さい頃にお寺に入られたようだし、お坊さんになるというのは、自然とご自身の中に育っていったのかもしれないですね。

お檀家さんの中には、小さい頃をよく知る方もいらっしゃるのではないですか？

**副住職** ええ。私は子どもの頃はよしあきと呼ばれていましたので、小さい頃から「よっちゃん、よっちゃん」なんて呼ばれていて…。だから、その頃から知っている檀家さんには今でもそう呼ばれたりするんです（笑）。

**問** 子どもの頃から成長していく様を見守っていらして親近感があるのでしょうか。何だか温かみを感じていいですね。

では、ずっと続けていらっしゃる趣味などありますか？

**副住職** 中学校の頃から、写真をやっていました。中学、高校、大学と、かなりのめり込んでやっていましたね。賞を取ったり、

クラブの展覧会を新宿で開いたり、テーマを決めて組み写真などを撮っていました。「春」とか「いぶき」とか「きずな」とかね。(笑)

幼稚園の卒園アルバムの写真も、行事の意味が伝わるような写真、子どもの表情にこだわりをもった写真などが撮影して構成したりしていました。ここ数年は、なかなか手がまわらなくなってしまいました。

**問** 確かに。市議会議員として、幼稚園の園長として、また霊園管理やお寺の副住職としての仕事など一人何役もというのは時間が足りなくて大変なのではないですか？

**副住職** そうですね。でも、幼稚園も霊園もスタッフがきちんとやってくれていますし、お寺は、住職が元気にやってくれているのでなんとかまわっていています。

**問** 市議会議員に立候補されたのは何かきっかけがあったのですか？

**副住職** はい。幼稚園をやっている中で幼稚園協会を通して市政を見た時に「子育てや教育の場に必要なこと」を訴えていく人がなかなかいないと感じ、またそれを実行する人が必要だと

思って「よし。やってやろう！」とね。それと地元議員が一人辞めることになって、その方たちの力添えもあって立候補しました。

**問** 現場の生の声を直接訴えることが出来るということですね。

**副住職** やはり、きちんと訴えていくことで徐々に変わってきました。

**問** 頼もしいですね。ところで話しは変わりますが、もうすぐお盆とお施餓鬼ですね。こちらでは施餓鬼会はどのようなことをするのですか？

**副住職** はい。五月の三十日に上棟式した新しい本堂で法要と、三遊亭春馬師匠に来ていただき落語をやる予定です。春馬師匠も草加がご出身で、うちで聞く落語会にはよく来ていただくんです。



**問** お施餓鬼の法要は誰でも参加できるのでしょうか？

**副住職** はい。檀家さんや、霊園使用者の方以外でも、どなたでも参加できますので気軽に足を運んでいただきたいですね。

本堂も施餓鬼の頃には細かいところはまだまだですが、ほぼ完成しています。

実は私、新しい本堂が完成してからは、やりたいことが沢山あるんです。鐘撞き堂はないので除夜の鐘はできませんが、七草粥の会や、近くの相撲部屋の力士に来てもらって節分、それからコンサートや落語など…。多くの方がお寺に集ってもらえるように考えています。コミュニケーションの場は本来のお寺としての役割の一つではないかと思うのです。

**問** そんなお話しを伺っているとんだかワクワクします。夢が膨らみますね。行事の時には、是非私も参加させていただけたいです。

本日は、お忙しいところ有難うございました。

(※) 得度とは、仏教における僧侶となるための出家の儀式。

## 浄土宗の經典

「ただひたすら念仏すべし」といい、阿弥陀の本願を信じて南無阿弥陀仏とその名を唱えれば誰もが救われると説いた法然上人の教えは、救いを求める民衆にたちまちひろまっていきました。では、浄土宗のよりどころとなる經典は何でしょう。



阿弥陀如来を本尊とする浄土宗のよりどころとする經典は、浄土三部經と呼ばれる三つの經典です。

浄土三部經とは、一切經の中から『無量壽經』二卷、『觀無量壽經』一卷、『阿弥陀經』一卷の三典を法然上人が選ばれたものです。

### 「**仏説無量壽經**」は、

「觀無量壽經」「阿弥陀經」とともに五世紀の中国で翻譯されました。二卷からなります。

内容は、法藏菩薩が、すべての人々を救済するために仏となることを志し、四十八の誓願をたて、長い修行をへてすべての誓願を成就させ、阿弥陀如来となられ、莊嚴な極樂浄土が建立されるというものです。

### 「**仏説觀無量壽經**」は

浄土三部經のなかで、「無量壽經」も「阿弥陀經」もインドの原典とチベット語訳があるのに対し、この「觀無量壽經」だけは漢訳しか伝わっていません。略して「觀經」とも称され、お經の内容が物語風にまとめられています。

王舎城に起きた「王舎城の悲劇」という事件を背景に、王妃韋提希夫人がお釈迦さまに、精神的救いを求め、それに応じたお釈迦さまが浄土へ往生するためのさまざまな方法を説くというものです。

### 「**仏説阿弥陀經**」は

浄土三部經の中でもっとも短いため、「小無量壽經」、略して「小經」とも呼ばれています。極樂浄土のすばらしさと、阿弥陀仏や、そのもとに集う菩薩たちの徳が説かれ、この極樂浄土へ往生するには阿弥陀仏の名号を信じ称えることと説かれています。

## お盆の過ごし方

**お盆（盂蘭盆会）**は先祖の霊を迎えて  
 祀る行事です。地域によって異なりま  
 す。一般に七月もしくは八月の十三  
 日から十六日までとされ、十三日を  
 「迎え盆」、十六日を「送り盆」とい  
 います。

### お盆の由来

お盆は正式には、盂蘭盆会といひ仏  
 説盂蘭盆経という經典の中にかかれて  
 いる古事がもととなり生まれた法要と  
 いわれています。

それは、「お釈迦さまの十大弟子の  
 一人、神通第一といわれた目連尊者が、  
 ある時その神通力を使い亡き父母の姿  
 を見てみると母は餓鬼道に堕ち苦し  
 んでいることがわかりました。目連尊者  
 はお釈迦さまに救いを求め、教えのと  
 おり七月十五日に諸仏衆僧に供養し  
 て、父母の追善供養をしてもらったと  
 ころ、餓鬼道に堕ちていた母は救われ  
 た」というものです。

この教えから、先祖の精霊をいっさ  
 いの苦しみから救い、我が家に迎え入  
 れ供養を捧げ、また仏の浄土に送ると  
 いう盂蘭盆会の行事が行われるようにな  
 ったといわれています。

故人の忌明けがすんでから初めて迎  
 えるお盆を「新盆」または「初盆」と  
 いいます。

### 精霊棚の準備

お盆の入りの日は、お墓を掃除し各  
 家庭では、故人の霊を迎えるための精  
 霊棚と供物を準備します。精霊棚はい  
 草で編んだ「まごも」（ゴザ）を敷き、  
 ナスで作った牛と、キユウリで作った  
 馬をおきます。この牛と馬は、ご先祖  
 がこの世に来たり帰  
 ったりするための乗  
 り物といわれていま  
 す。またお位牌の前  
 には供養膳を供え、  
 野菜や菓子、果物な  
 どを供えます。



### 迎え火・送り火

お盆の入りの日である十三日は、家  
 の入り口で迎え火を焚きます。仏界か  
 らどこに帰ればいいのか分からない仏さ  
 まのために、家の入り口でおがらを焚  
 き、その煙にのって帰れるようにする  
 ためです。

昔は、仏界からご先祖の霊を家まで  
 案内してくるという意味で、十三日に  
 お墓参りをして、線香の火種を松明  
 （たいまつ）にうつして家に持ち帰り、  
 それを火種にして家の前で迎え火を焚

きました。ですから、十六日におこな  
 う送り火の時も、来たときとは逆に家  
 の前で焚いた火種をお墓まで持っていき、  
 お墓のお線香に移していたのですが、  
 今日では、迎え火、送り火とも玄  
 関の前でおがらを焚くという家庭が一  
 般に多いようです。



暮らしの中の

## 仏教語

### 立派（りっぱ）

立派な人とはどんな人ですか？ そういう問いにいろいろな答え  
 が返ってきそうですね。さて、この立派という言葉の語源は一説に  
 仏教語の「立破文明」に由来するとされています。

単に「立破」とも言うこの言葉は、仏教の論理学において、自分  
 の信義を立証し他の非説を論破することがきちんとできることを言  
 います。ここからきちんとしていることを「りっぱ」と言うようにな  
 ったとか…。

また別の説では、僧が一派を立てる意味の「立派」  
 に由来するとされ、もとの流派から別れ新たに一つの  
 派を立てるのは至難なことで、そこから優れているさま  
 を「立派」というようになったとも言われています。

どちらにせよ「自分」というものをしっかり持って  
 いて芯のある人のことを言うようですね。

## ■西願寺本堂上棟式報告■

去る、5月30日西願寺本堂の上棟式が行われました。

まだ足場に覆われている本堂ですが、完成間近のその姿に、「すばらしい本堂が出来た」と喜ぶお檀家様の声が聞こえました。

当日は、はっきりしない天候の為、餅投げはテントの下で行われましたが、あずま幼稚園の園児をはじめ皆さん楽しそうに行事に参加されていました。



丹羽尊照住職



餅投げを楽しむ子どもたち

## ■西願寺大施餓鬼会法要のご案内■

年に一度の大供養法要ですので、万障お繰り合わせの上、ご出席ご参詣いただき御仏前のご焼香供養ください。

日時 平成21年8月18日（火）13時より  
13時／余興（落語） 14時／法要  
場所 西願寺本堂

尚、当日は草加市文化大使でもある三遊亭春馬師匠の落語もあります。是非、間近で見る落語をお楽しみください。

### ◆三遊亭春馬師匠プロフィール

埼玉県草加市出身  
昭和62年 三遊亭小遊三師匠へ入門  
昭和63年 三遊亭あん太で前座（初高座）  
平成4年 二つ目に昇進  
五代目三遊亭春馬を襲名  
平成13年 真打昇進  
平成17年 草加市文化大使に



### お施餓鬼

施餓鬼会は、「口陀羅尼經」というお経に説かれた阿難尊者の話に由来しています。先祖追福のために、また一切の生物の霊を慰め、あわせて自分自身の福德延寿を願う法要で、施餓鬼棚に「三界万霊牌」や初盆の戒名を記した位牌を置き、浄水や食物を供え、五如来の「施餓鬼幡」を立てて法要を営むのが習わしです。

### 仏事相談

祖母の三十三回忌と父の十三回忌の日付が近いのですが、一年のうち年回忌法要が複数ある場合、一度にまとめて勤めてもいいのですか？

本来、年回忌法要は祥月命日（故人の亡くなった同月同日）に亡き人を偲びお勤めするものですので、一度にまとめないものでした。しかし、命日が近かったり、法要に集まる方も考えてなど、諸事情により併せることは構いません。ご都合に合わせて法要を勤めてください。

複数の故人に対する法要を一度にすますことを、併修、合斎（がっさい）などといいます。



# 掲 示 板

## ■ 霊園事務所定休日のお知らせ ■

### 彩の都メモリアルパーク 管理事務所定休日

#### 毎週水曜(水曜日が祝日の場合は翌日)

毎週水曜日は管理事務所の定休日とさせていただきます。事務手続き、電話問い合わせなどの業務はおこなえません。

皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。

尚 墓所へのお参りは通常通り開門しておりますのでご自由にいらしてください。

#### ◆ 西願寺 今後の行事案内

- ◎7月13日(月)～16日(木) ……お盆会(東京棚経)
- ◎8月13日(木)～16日(日) ……お盆会(東京棚経)
- ◎8月18日(火) ……大施餓鬼会
- ◎9月20日(日)～26日(土) ……秋の彼岸会

## — 彩の都メモリアルパーク 管理料変更についてのお知らせ —

税制の変更により、平成22年度より当霊園の管理料に消費税が課税されることになりました。つきましては、誠に恐縮ですが次年度から消費税を含め値上げを予定しています。何卒、事情をおくみとりいただき、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

変更後の金額  
につきましては、改めてご案内させていただきます。



## — 個人情報保護に関する基本方針 —

当寺／霊園は、皆様からご提供いただいた個人情報の重要性を深く認識し、情報の保護の徹底を図るため、下記の方針を定めております。

- 1) 当寺／霊園は、個人情報に関する法令及び他の関係法令を厳守します。
- 2) 当寺／霊園は、個人情報をご提供いただく際にその利用目的を確認し、当霊園の活動の範囲内で適法かつ公正な手段で取得します。皆様からいただいた情報は下記の場合のみ利用し、それ以外に利用することはありません。
  - ①当寺／霊園の宗教活動に使用し、これに関連して電話、郵便、電子メール、ファクシミリ等の手段によって連絡をとる目的。
  - ②当寺／霊園の宗教活動・公益事業・その他の事業に関する情報を提供する目的。
  - ③当寺／霊園の宗教活動を推進する目的。

宗教法人 西願寺  
彩の都メモリアルパーク



### ■ お便り募集 ■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させて頂きたいと思っております。また、「さんが」についての感想もお待ちしております。

### ◆ イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部  
東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビル7F  
FAX 03 (32695) 1392  
Mail: info@io-co.net

### ■ 次号予告

次号は平成二十二年十二月発行予定の「新年号」です



#### ◆編集後記◆

そろそろお盆の季節が近づいてきました。幼い頃は、あのきょうりとナスでつくった不思議な動物に興味深々で、祖母からその意味を聞いたことが思い出されます。さて、今回5ページに掲載した本堂の上棟式では足場に囲まれているものの、新しい本堂の姿を拝見することができました。屋根や内部の造りなどどれもすばらしく完成が待ち遠しいです。上棟式に参加された方は、「お寺のこういう機会（上棟式）に立ち会えることは滅多にないことから」「すばらしい本堂ができた」と新しい本堂をとても喜ばれている様子でした。今後の完成した本堂で行われる行事が楽しみです。まさに副住職がインタビュアでおっしゃっていた多くの人が集えるコミュニケーションの場になりそうです。

発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二一六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭副住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部